

機械器具（74）医薬品注入器
一般医療機器 手動式圧注入調節装置（JMDNコード：13100001）

インフューサージ加圧バッグ

再使用禁止

【警告】

輸液バッグ内に空気が認められる場合は十分抜いてからご使用ください。

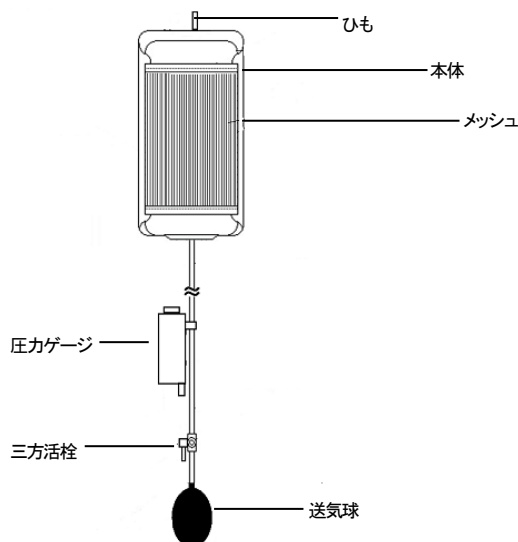
【禁忌・禁止】***

1. 再使用禁止。（本品は使い捨て製品であり、再使用による機能低下のおそれがある）
2. 送気球以外の方法（電動ポンプ、院内配管等）で加圧を行わないこと。（急激な加圧により、破袋など故障のおそれがある）
3. 375mmHg（±10%）を超える加圧を行わないこと。（過剰な圧により、製品機能の低下及び破損のおそれがある）

【形状・構造及び原理等】

＜形状＞ 一例

本品は未滅菌品です。



＜材質＞

本体：ナイロン

メッシュ部：ポリエステル

クリアパネル部：ポリエーテル、ポリウレタン

送気球：ポリ塩化ビニル

圧力ゲージ：ABS樹脂

三方活栓：ポリカーボネート

チューブ：ポリ塩化ビニル

ひもループ：ポリエステル

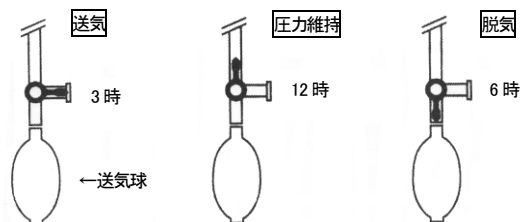
フック：ABS樹脂

【使用目的又は効果】

本品は、手動の送気球からの送気により輸液用ソフトバッグに一定圧を加え、輸液の滴下を調節する器具である。

【使用方法等】*

1. 輸液用ソフトバッグを本体とメッシュ部もしくはクリアパネル部との間に入れる。
2. 輸液用ソフトバッグ上部の孔にひもループを通す。フック付の場合は、輸液用ソフトバッグ上部の孔をフックに掛ける。
3. 三方活栓のつまみを3時の位置に合わせ、送気球を手動で操作し加圧する。
4. 一定圧の加圧が行われていることを圧力ゲージで確認する。
5. 三方活栓のつまみを12時の位置に回し、圧力を維持する。
6. 脱気するときは、三方活栓のつまみを6時の位置に回す。



【使用上の注意】***

- ・最大設定圧力375mmHg（±10%）を超える圧以上に加圧されるとインジケータ部の安全弁が作動し、最大設定圧力まで自動的に減圧されます。
- ・空気が封入されていない輸液バッグをご使用ください。
- ・使用前、輸液バッグの脱気を必ず行ってください。

【保管方法及び有効期間等】*

＜保管方法＞

- ・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

株式会社 名 優

〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台3-9-2

TEL:047-480-6161 FAX:047-480-6162

製造業者：**

SUNMED AP,LTD.（中華人民共和国）